

2023 年度 (令和 5 年度)

学校評価自己評価表

大門 中学校区 校番 54 福山市立 野々浜小 学校

最終更新日 2024年(令和6年)1月5日

I 福山市

ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。

ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	課題発見・解決力 思考力・判断力・表現力 主体性・積極性 共感性
<ul style="list-style-type: none"> 子ども主体の活動を推進する。 情報発信及び地域行事への参加等により、地域と学校の協力体制を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 思考力・表現力が弱い。 自尊感情が高まりつつあり、主体的に行動する姿が見えてきた。 	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿) 中学校区として統一した取組等	自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力を身につけた生徒 ・「子ども主体の学び」に向けた授業を創る。 ・レーダーチャート等を活用し、学級力や自尊感情・主体性を高める取組をする。 (年3回アンケート実施) ・学校における働き方改革を進める。

III 自校

ミッション 「仲間と共に学ぶ楽しさ」「働く喜び」があり、保護者・地域が誇りにする学校	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”) 課題発見・解決力 思考力・判断力・表現力 主体性・積極性 共感性															
学校教育目標 よりよく生きようと学び合う子どもの育成 ～ かしこく うつくしく たくましく ～	めざす子ども像 <table border="1"> <tr> <td>1・2年</td> <td>自分で疑問や課題を見つけ、生活体験や既習事項をもとにして解決しようとしている。</td> <td>生活体験や既習事項から順序立てて自分の考えを持ち、絵や言葉、動作などを駆使して表現している。</td> <td>自分がやらなければならない勉強や仕事を進んで行っている。</td> <td>身近な人に温かい心で接している。</td> </tr> <tr> <td>3・4年</td> <td>疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして解決している。</td> <td>生活体験や既習事項から理由や根拠をもとに自分の考えを持ち、絵や言葉、動作など適切な方法を選択し、表現している。</td> <td>集団の中で、自分がやるべきことに気付き、進んで行動している。</td> <td>相手の気持ちを考え、行動している。</td> </tr> <tr> <td>5・6年</td> <td>疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして解決し、新たな課題を見つけている。</td> <td>生活体験や既習事項から適切な理由や根拠をもとに、自分の考えを持ち、目的や意図に応じて、論理的に説明したり、適切な方法を選択したりして表現している。</td> <td>集団の中で、相手や場の状況に応じて、自分でより高い目標を持ち、自分から行動している。</td> <td>相手を思いやることの大切さに気付き、相手の立場を尊重し、行動している。</td> </tr> </table>	1・2年	自分で疑問や課題を見つけ、生活体験や既習事項をもとにして解決しようとしている。	生活体験や既習事項から順序立てて自分の考えを持ち、絵や言葉、動作などを駆使して表現している。	自分がやらなければならない勉強や仕事を進んで行っている。	身近な人に温かい心で接している。	3・4年	疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして解決している。	生活体験や既習事項から理由や根拠をもとに自分の考えを持ち、絵や言葉、動作など適切な方法を選択し、表現している。	集団の中で、自分がやるべきことに気付き、進んで行動している。	相手の気持ちを考え、行動している。	5・6年	疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして解決し、新たな課題を見つけている。	生活体験や既習事項から適切な理由や根拠をもとに、自分の考えを持ち、目的や意図に応じて、論理的に説明したり、適切な方法を選択したりして表現している。	集団の中で、相手や場の状況に応じて、自分でより高い目標を持ち、自分から行動している。	相手を思いやることの大切さに気付き、相手の立場を尊重し、行動している。
1・2年	自分で疑問や課題を見つけ、生活体験や既習事項をもとにして解決しようとしている。	生活体験や既習事項から順序立てて自分の考えを持ち、絵や言葉、動作などを駆使して表現している。	自分がやらなければならない勉強や仕事を進んで行っている。	身近な人に温かい心で接している。												
3・4年	疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして解決している。	生活体験や既習事項から理由や根拠をもとに自分の考えを持ち、絵や言葉、動作など適切な方法を選択し、表現している。	集団の中で、自分がやるべきことに気付き、進んで行動している。	相手の気持ちを考え、行動している。												
5・6年	疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして解決し、新たな課題を見つけている。	生活体験や既習事項から適切な理由や根拠をもとに、自分の考えを持ち、目的や意図に応じて、論理的に説明したり、適切な方法を選択したりして表現している。	集団の中で、相手や場の状況に応じて、自分でより高い目標を持ち、自分から行動している。	相手を思いやることの大切さに気付き、相手の立場を尊重し、行動している。												
現状 〈児童生徒〉 ・心の余裕や自信のなさから、言葉や暴力で攻撃するなど、仲間を大切にしない言動が見られる。 ・基礎学力の定着に課題がある児童がいるが、学ぼうと努力する様子の見られる児童は増えてきている。 ・授業で児童同士が対話する場面は増えてきたが、はっきりとした自分の意見を持ってないまま交流する姿も見られ、主体的で深い学びにつながっていない児童がいる。 ・学校行事や係・委員会等で自分の役割を自覚し、創造的活動を進めようとする姿が見られるようになった。反面で活動に意欲を持って取り組めない児童がいる。 ・目標を持って取り組むことはできてきたが、達成感・充実感を得られず、自己肯定感の低い児童が多い。 〈授業〉 ・児童の思考に沿った単元の学習計画を立てたり、課題発見・解決ができるような学習過程や発問等を工夫してきた。また、授業の振り返りを利用して「学びの自覚」を促してきた。その結果、学び方の広がりは見られたが、思考の広がり・深まりには十分つながっていない。 ・指導と評価の一体化を図り、「主体的な学び」を通して思考・判断・表現力を育てる授業力の向上をめざす必要がある。	研究 テーマ 個別最適化に対応した学びを通して主体的に学び、思考力・判断力・表現力を高める授業づくり 内容等 算数科を中心に子どものもつ「見方・考え方」を働かせる学習過程の研究を通して、各教科の特質を生かした「深い学び」の授業づくりをめざす。 めざす授業の姿 ・児童が進んで学びに向かい「できた・わかった・楽しい」と思う授業 ・児童が学び方、学習内容、表現方法を選択し、学びが深まる授業															